

一般社団法人 わ・Wa・わ 2025年度 そいる小郡

利用者アンケート ならびに 従事者による自己評価 報告

そいる小郡をご契約いただいている方から多くのご回答をいただき心より感謝申し上げます。

お忙しい中、利用者アンケートへのご協力ありがとうございました。おかげさまで、9割近くの方々からのご意見をいただくことができました。いただいた皆様からのご意見を取りまとめましたので、報告させていただきます。

なお、お気づきのことがありましたら、いつでもお声かけいただくと幸いです。

このアンケートは2026年1月末に在籍していた児童を対象にアンケートを実施し、職員による事業所評価等も加味してコメント書いております。

調査数と回答数

児童発達支援	契約数9名のうち	回答8件(回答率88.9%)
放課後等デイサービス	契約数48名(46世帯)のうち	回答41件(回答率89.1%)

※左側：児童発達支援、右側：放課後等デイサービス(影枠で囲み)です。

※児童発達支援は「児発」、放課後等デイサービスは「放デイ」と略して記載しております。

※2つの事業の類似した設問は回答を併記して比較していただけるようにしています。

※参考までに、昨年(2024年)の回答を右上に「2024年回答」として、小さく掲載しております。

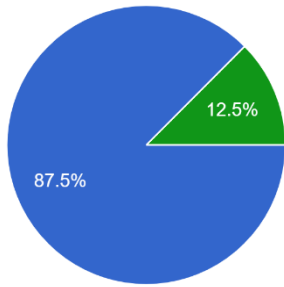
ご回答いただきました方の内訳は以下の通りです。



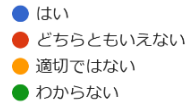
I. 「環境および体制整備について」

1. そいる小郡の活動スペースは適切と感じますか。

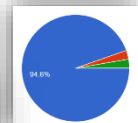
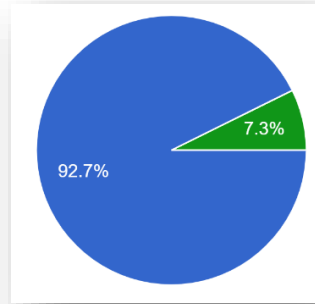
児発:回答数8



2024 年回答



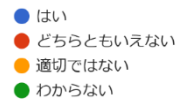
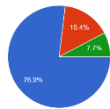
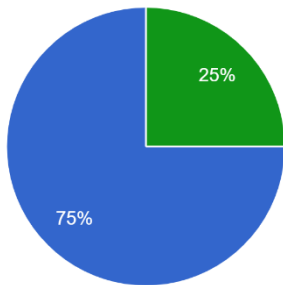
放デイ:回答数41



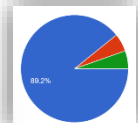
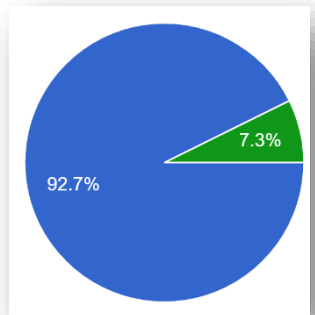
2024 年回答

2. 職員の配置数は適切であると思いますか。

児発:回答数8

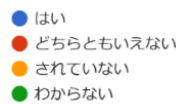
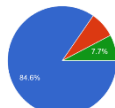
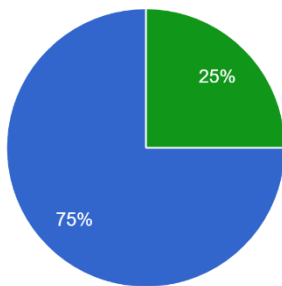


放デイ:回答数41

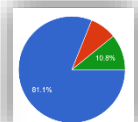
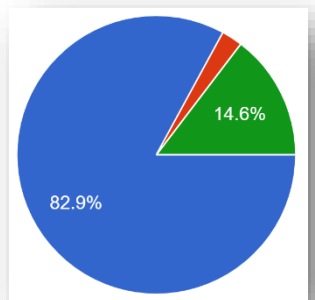


3. 遊具や玩具、教材等は、どの子どもでもわかりやすく、使いやすいように設置されていますか(バリアフリー等の対応)

児発:回答数8

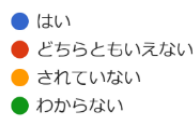
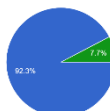
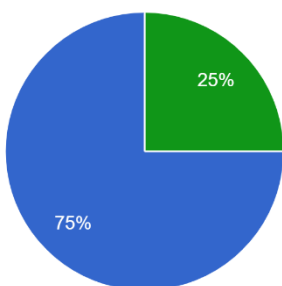


放デイ:回答数41

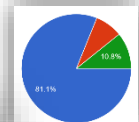
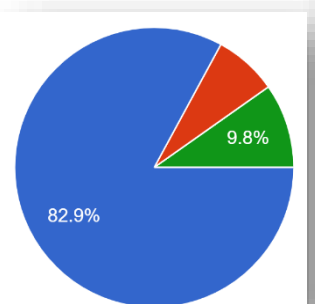


4. 遊具や玩具、教材等は、安全に考慮され設置されていますか(誤飲・ケガ等事故防止対応)

児発:回答数8

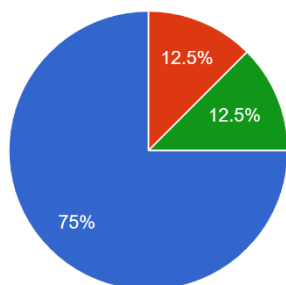


放デイ:回答数41



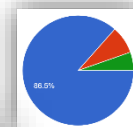
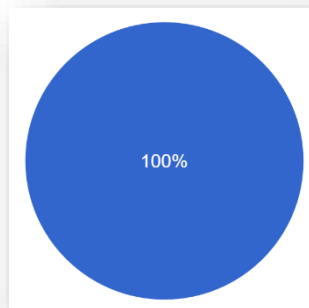
5. 生活する場所は、清潔で、心地よく過ごせるようになっていきますか。 空間は子ども達の活動に合っていますか

児発:回答数8



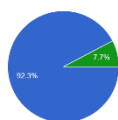
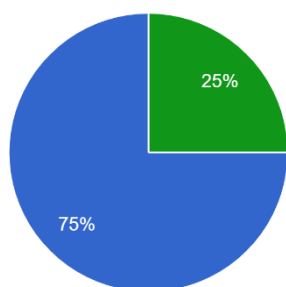
● はい
● どちらともいえない
● されていない
● わからない

放デイ:回答数41



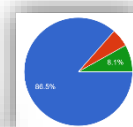
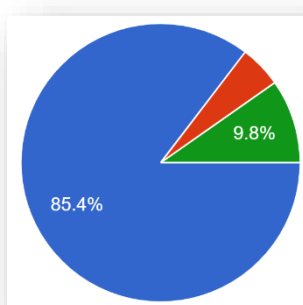
6. 空間は子ども達の活動に合っていますか

児発:回答数8



● はい
● どちらともいえない
● されていない
● わからない

放デイ:回答数41



「環境および体制整備について」お気づきの点やご意見をお聞かせください(任意)。

児童発達支援

先生方が子供にしっかりついている印象です

「なにを基準とすると適切なのか」が理解できていないため、回答が「わからない」になってしまっております。

見学していないのでわかりません

放課後等デイサービス

遊具・玩具の種類など分かりませんが、スペースは充分だと思います。

いつもいつも丁寧に十分な人員体制を取って頂いております!!!

子供達がケガ等しないように工夫していると感じます。ありがとうございます。

玩具を直す場所が分からなくなると子供が言っていました。

〈そいる小郡より〉

そいる小郡は、開設当初から年間通して午前中に幼児、午後に学齢児以降とし、支援提供の時間帯を午前中と午後の2部制としております。また、午前中の児発においては一日受け入れを最大7名、午後の放デイでは15名程度とし、可能な限りスペース、人員配置の適正化を図っております。これにより、幼児一人に対して1.3人程度、学齢以降の児童一人に対しては0.75人程度のスタッフ配置が可能となっております。広さ的には、事業所全体で約135㎡あり、そのうち約80㎡はこどもたちが活動するスペースです

ちなみに国が定める人員配置の基本は、なんとこどもの年齢に関係なく、こども10人に対してスタッフ2人(こども一人に0.2人)とされ、まったく現実味のない指定の基準です。またスペースに関しては、こども1人あたり、2.47㎡で、20名定員ですと24,7㎡となります。(余計にわかりにくいたとえかもしれませんが)みずほPayPayドームの建築面積が72,740㎡ですから、ドームで約29,500人のこどもたちの支援を590人のスタッフで対応する感じです。

スタッフによる自己評価においては、当然のことながら児発と放デイでは対象児の人数、体格、活動のバリエーションも大きく異なるため、活動スペースならびに職員配置等の物理的な評価が異なりました。全般的にバリアフリーや情報伝達等の配慮に関して今後検討が必要な点である点は確認できました。一般的な整理整頓に関してはスタッフ一同、日々意識して進めてまいりますが、その他の活動環境については、今後も引き続き、パーテーション等を活用して、その都度対応するようにいたします。細かな仕切りや無機質な環境設定などを恒常的に整備するようなことは致しません。

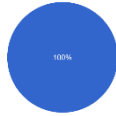
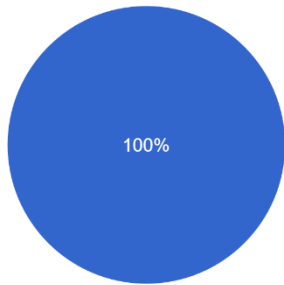
何よりも、利用者評価において、「適切ではない」との回答がなかったことに安心いたしました。また、「わからない」との回答に関しても少なくなっており、保護者の方々にはご足労をおかけしますが、送迎や面談等で来所していただき、こどもたちの活動の様子や環境をみていただきたいと思っております。

玩具や遊具の配置や使用の可否などがわかりにくくなっているため、その都度伝えながらも、より分かりやすい環境づくりに努めます。玩具遊具の消耗、破損スピードがとても速いため、適宜入れ替えたいと思っておりますが、破損しても気にならないほうが、広い心で見守れることも事実です。

II. 「スタッフの関わりについて」

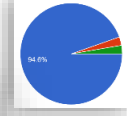
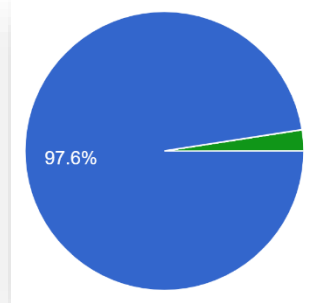
7. こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思えますか。

児発:回答数8



- はい
- どちらともいえない
- いいえ
- わからない

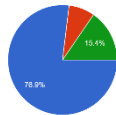
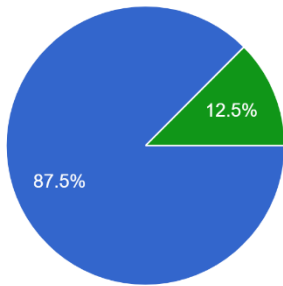
放デイ:回答数41



8. ”事業所の提供する支援内容は、ホームページにて公表している支援プログラムと合っていますか。

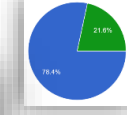
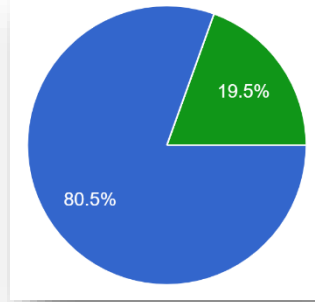
参照 HP <https://www.wawawa-f.com/development.php>”

児発:回答数8



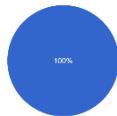
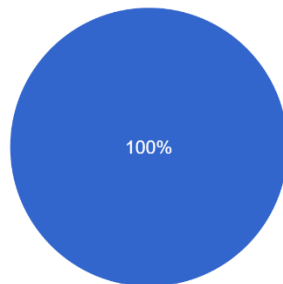
- はい
- どちらともいえない
- いいえ
- わからない

放デイ:回答数41



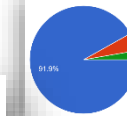
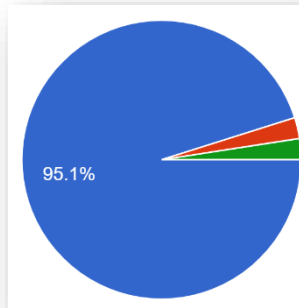
9. 個別支援計画は、こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で作成されていると思えますか。

児発:回答数8



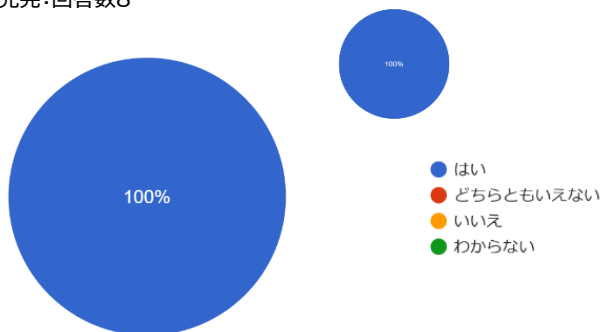
- はい
- どちらともいえない
- いいえ
- わからない

放デイ:回答数41

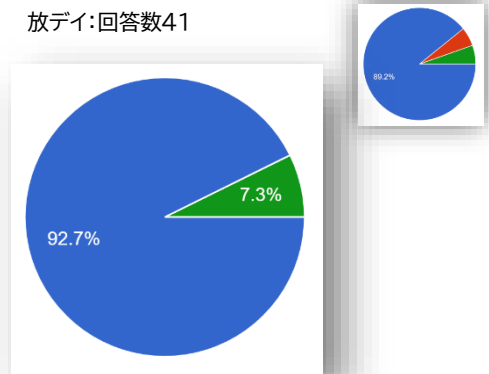


10. 個別支援計画には、「本人への支援」、「ご家族への支援」、「保育所など地域との連携や移行を想定した支援」など、必要な項目が適切に設定され、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。

児発:回答数8

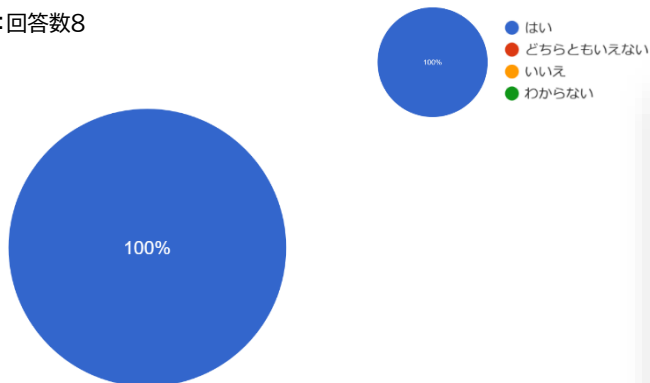


放デイ:回答数41

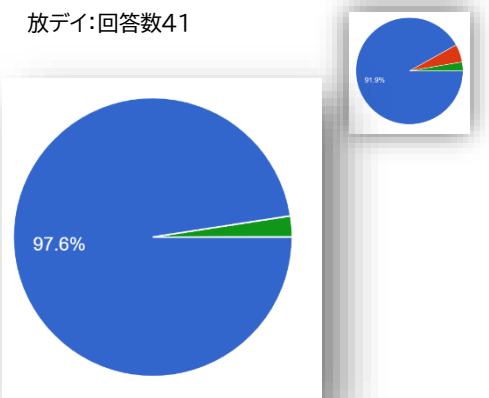


11. 個別支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。

児発:回答数8

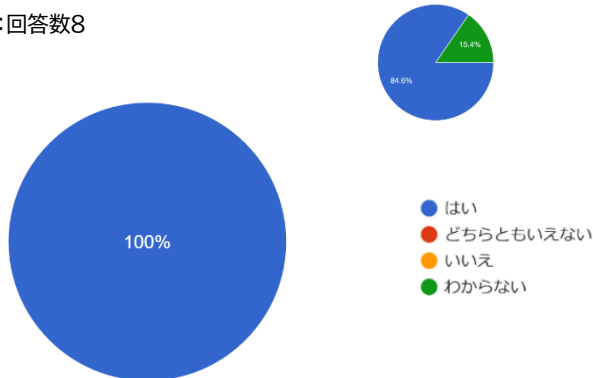


放デイ:回答数41

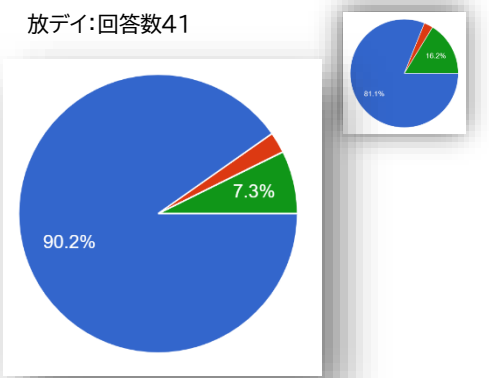


12. 活動プログラムは、固定化されないように配慮され提供されていますか

児発:回答数8

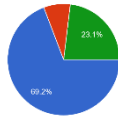
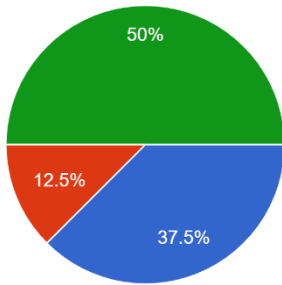


放デイ:回答数41



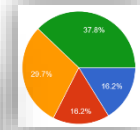
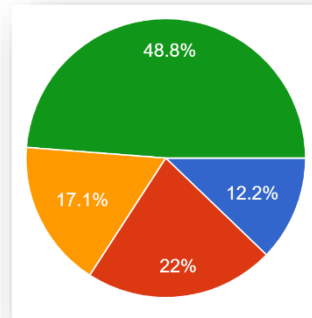
13. 保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。
 (学童保育等との交流や、)

児発:回答数8



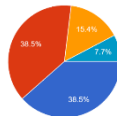
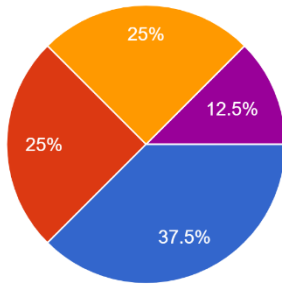
- はい
- どちらともいえない
- いいえ
- わからない

放デイ:回答数41



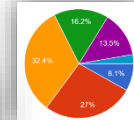
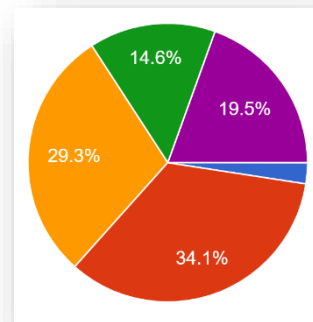
14. 保育所や保育園、幼稚園の子どもたちと活動する機会を期待しますか。

児発:回答数8



- 大いに期待する
- ほどほどに期待する
- あまり望まない
- 望まない
- 回答できない
- 幼稚園に行っている

放デイ:回答数41



「スタッフの関わりについて」お気づきの点やご意見をお聞かせください(任意)。

児童発達支援

記載なし

放課後等デイサービス

何かあるごとに、妥協せず接して下さるので、とてもありがたいです。

子どもの事をよく観察して、関わってくださっています。

スタッフの方々に愛され、関わってもらい、多種多様なアプローチ、圧力等を頂いておりますのですすく育っております！

1人1人の個性を理解してくれていると感じています。送迎時のちょっとした時間の会話などでも目を配ってくれてるとわかり、安心できます。また、何より子供が職員皆さんの嫌な所などを言った事はありません。それが全てだと思っています。

〈そいる小郡より〉

この機会にそいる小郡での取り組みを紹介させていただきます。児童発達支援のこどもさんに対しては、保育の5領域を軸として、日々の活動計画を考え、集団、個別などの活動形態、机上活動や運動、リズムなどの活動の種類に配慮して偏りがないように計画しております。また、放課後等デイサービスのこどもさんに対しては、活動選択の自由度をあげ、そこに個別対応や集団化できるようにスタッフが関わるようにしております。それぞれに朝のミーティングならびに支援提供中のスタッフ相互の声かけにより、支援の方法や内容を変更、その質の向上を図ることができるようになりました。特に児童発達支援のプログラムは企画立案・実施・修正などを毎日密に行い、職員のOJT(On the Job Training)としても大変有効に機能しております。紹介ならびに他にはないプチ自慢です。スタッフの関わり等については、日々の支援プログラム等については、持ち回りで立案し、複数名での内容の確認、当日に全員で確認するようしております。そのプログラム全体を確認する役割を担うものが児童発達支援管理責任者(児発管)ですが、そいる小郡でそれに相当する役割を担う者は5名おります。今回、従事者評価にて、児発管はスタッフ全体との内容の検討が今一つできていないように感じているようですが、その他職員は全員で臨んでいると感じていることがわかりました。この気づきはとても有意義なものでした。ただ、これに関しては日々の現場での積み重ねなしでは解決されないこともあり、今後の地道な実績の積み重ねが必要です。

スタッフがそいる小郡という事業所内の環境でこどもたちの支援にあたることでスタッフ間の相互理解、一人のこどもさんの理解共通にすることは進めていけます。その内容を今一度咀嚼し、保護者との共通理解を深めていくツールが連絡帳、SNS、個別支援計画であります。現場を共に過ごすほどリアルではないものです。したがって、ご家庭での出来事、面白かったこと、困りごと等々を共有していただけると、私どもも具体的かつリアルなイメージを持ち、こどもたちと接することができます。よろしく願い申し上げます。

国が設定した質問項目に、保育所等との交流の機会に関する質問項目(設問13、14)がございましたが、そいる小郡にはあまり適当な設問ではないと考えております。現在利用しているこどもたちは全員保育所や幼稚園、学校など基礎集団となる場所を持っております。むしろ、ガチにそこで生活の大半を過ごして、或る意味、ホッとする場所、自分のペースに合わせてもらえる場所での本領発揮の機会が必要ではないかと考えておりますので、各所属先(基礎集団)とは、個別に関係を持ちたいと考えます。

また、医療との連携に関しては、受診先の紹介などであれば行っております。福祉的支援の方針は生活ベースに考えてまいります。その際の医療からのお薬や診断に関する情報はとても有益ですが、診断名等からかわり方を限定するような介入は致しかねます。参考にはさせていただきますが、私どもは一人一人が示してくれる言動や行動からその日の出来事を想像しながら、関わってまいります。

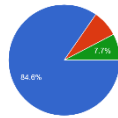
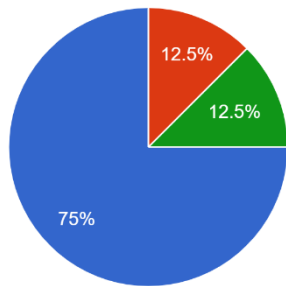
スタッフの関わりに対する評価は、おおむね満足していただけているようでした。まずは、「こども」にとって良いかわりができるように励み、安心して過ごしてもらえるように努めます。

今後も、こども達が苦手を感じていることを「楽しいかも」「やってみたい！」と思えるような活動の提供に邁進します。

III.「説明や相談について」

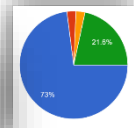
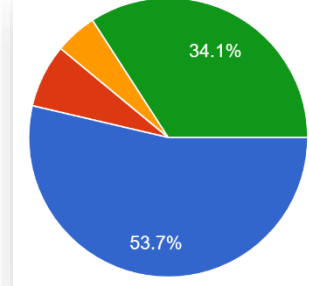
15. 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。

児発:回答数8



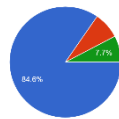
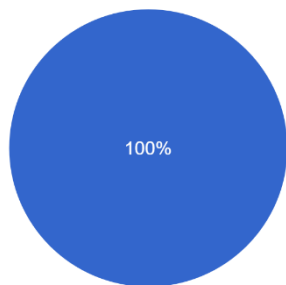
● はい
● どちらともいえない
● いいえ
● わからない

放デイ:回答数41



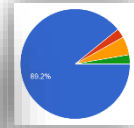
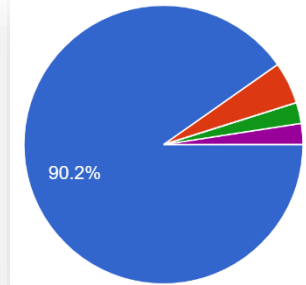
16. 「個別支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。

児発:回答数8



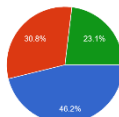
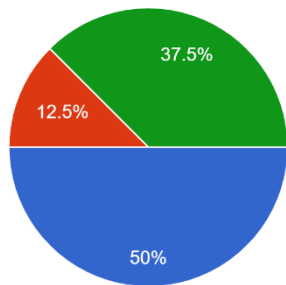
● はい
● どちらともいえない
● いいえ
● わからない

放デイ:回答数41



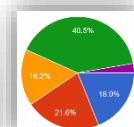
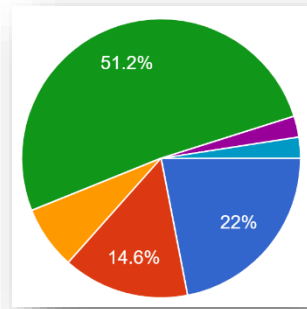
17. 事業所では、家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。

児発:回答数8



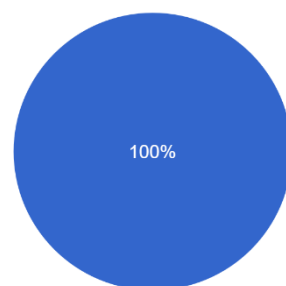
● どちらともいえない
● いいえ
● わからない

放デイ:回答数41



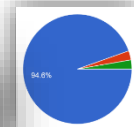
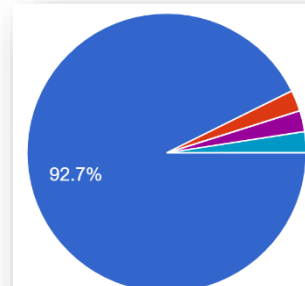
18. 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。

児発:回答数8



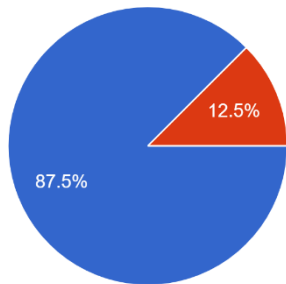
● はい
● どちらともいえない
● いいえ
● わからない

放デイ:回答数41



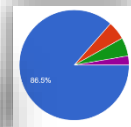
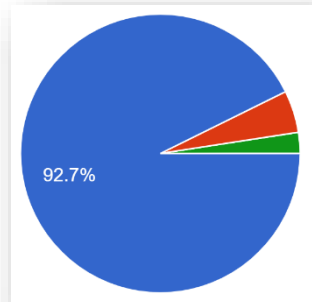
19. 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。

児発:回答数8



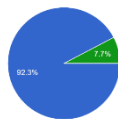
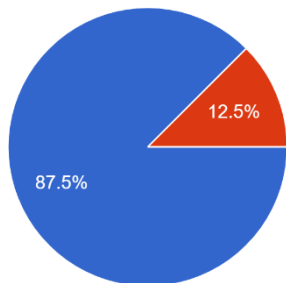
- はい
- どちらともいえない
- いいえ
- わからない

放デイ:回答数41



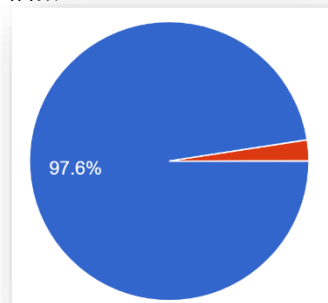
20. 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。

児発:回答数8



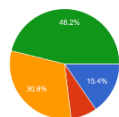
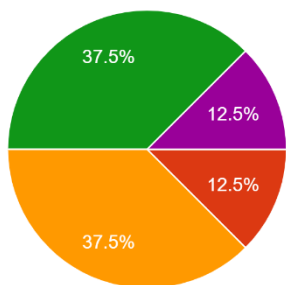
- はい
- どちらともいえない
- いいえ
- わからない

放デイ:回答数41



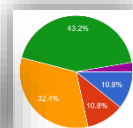
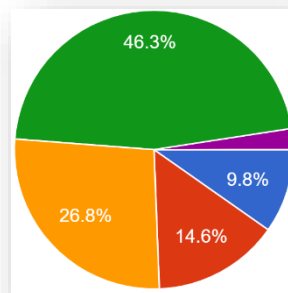
21. 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされていますか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。

児発:回答数8



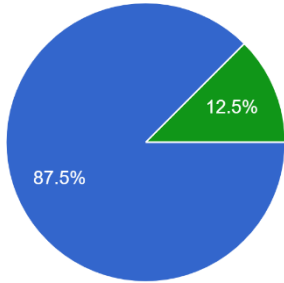
- はい
- どちらともいえない
- いいえ
- わからない

放デイ:回答数41



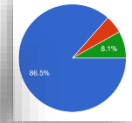
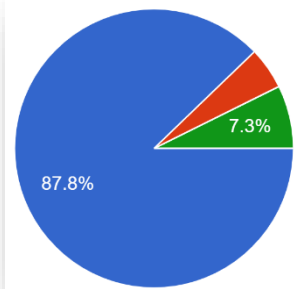
22. こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。

児発:回答数8



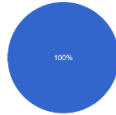
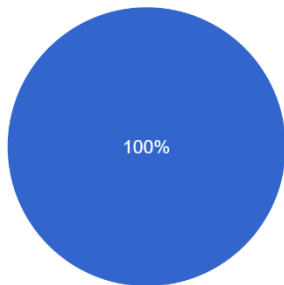
- はい
- どちらともいえない
- いいえ
- わからない

放デイ:回答数41



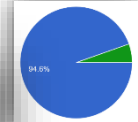
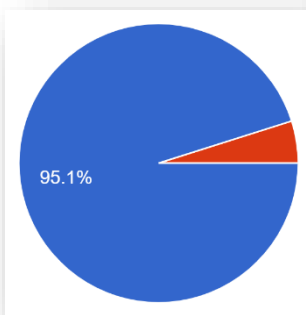
23. こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。

児発:回答数8



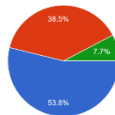
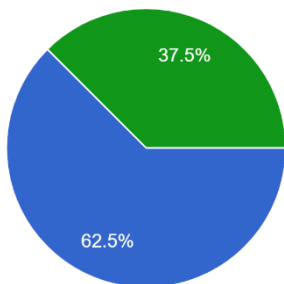
- はい
- どちらともいえない
- いいえ
- わからない

放デイ:回答数41



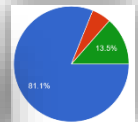
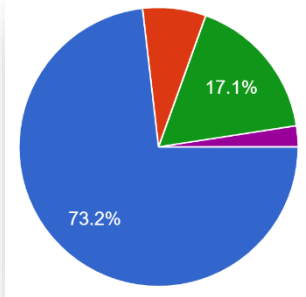
24. 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。

児発:回答数8



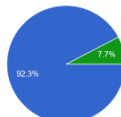
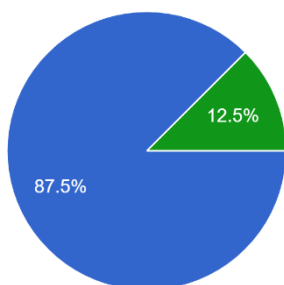
- はい
- どちらともいえない
- いいえ
- わからない

放デイ:回答数41



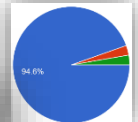
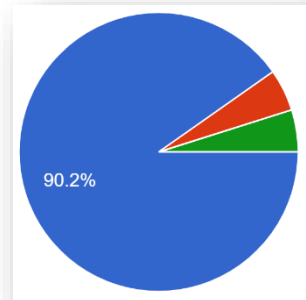
25. 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。

児発:回答数8



- はい
- どちらともいえない
- いいえ
- わからない

放デイ:回答数41



「説明や相談について」お気づきの点やご意見を聞かせてください(任意)

児童発達支援
記載なし
放課後等デイサービス
細かいことでもその都度相談させていただけるので、助かっています。
困った時に気軽に相談させていただいて、感謝しています！
もう利用年数が長くなってきたので、説明については記憶が薄れています。相談については日々、その都度、本当に困ったときにお話をさせていただいております！！
日々の生活の中で子供が不得意とする事や不安、保護者が感じる悩みなどどうしたら良いかと考えている時などに『個別支援計画』などの説明の時に同じ事を感じてくれたりする事が多々あり、共感してくれている事に安堵させられた事が何時も救いになっています。

〈そいる小郡より〉

全体での保護者会、保護者間、きょうだいの交流は、実施しておりません。ただ、それぞれに進路先や将来のことなどに直面した時に先輩保護者との話の場などは望まれることだろうとっております。それぞれのお子様は至って個性的であることが多いので、要望があれば個別にマッチングしてつなぐ方がいいと思っております。

情報提供や共有については、必要に応じて企画し、対応することが可能です。その都度検討させていただきます。さらに、経験豊富な保護者様も多くおられますので、ご協力していただきお話を聞かせていただく依頼も可能です(それぞれにダイレクトメッセージで依頼がいくかもしれませんので、その時はよろしく願います。先輩は後輩に伝える義務がある。通った者にしかわからない喜怒哀楽がある)。

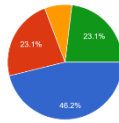
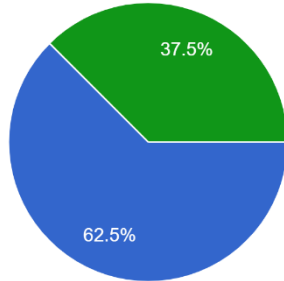
もう少ししたら、育ったこども自身が大人になって、語ってくれるメッセージも聞けると思います。なにより、それが楽しみです。相談や苦情の解決に関しては、対応できるスタッフが限られているので対応が遅れることもあったかと思えます。ただし、保護者の混乱等が生じないようにするため、スタッフ間での調整が必要であることにも留意し進めます。

今後、LINEや連絡帳のみでなく、保護者と話す機会、こどもの様子を観ていただける機会を提案したいと思えます。送迎にお越しいただけている方は是非、より密な情報交換をお願いします。少し早めにお越しいただければ、コーヒー等の提供は可能です。お茶でもしながらこどもたちの姿を眺めてみる機会もいいかと思えます。また、ご自宅への送迎時などに色々情報交換させていただけるとありがたく存じます。

IV. 「非常時等の対応について」

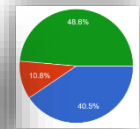
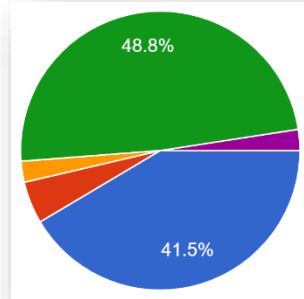
26. 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。

児発:回答数8



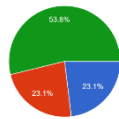
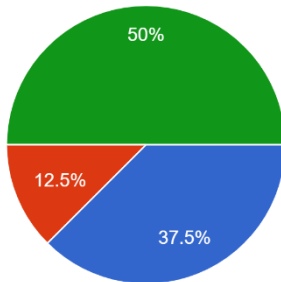
- はい
- どちらともいえない
- いいえ
- わからない

放デイ:回答数41



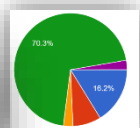
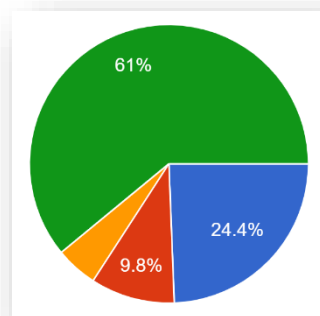
27. 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。

児発:回答数8



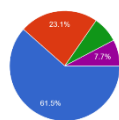
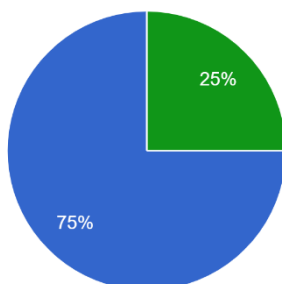
- はい
- どちらともいえない
- いいえ
- わからない

放デイ:回答数41



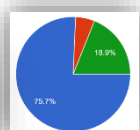
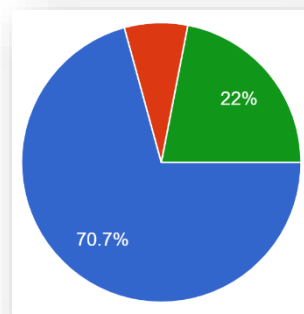
28. こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。

児発:回答数8



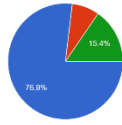
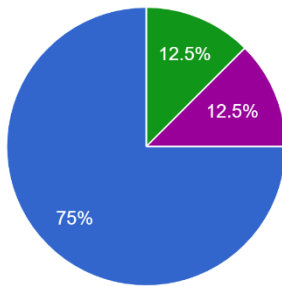
- はい
- どちらともいえない
- いいえ
- わからない

放デイ:回答数41



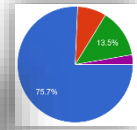
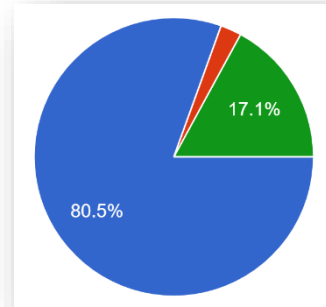
29. 事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。

児発:回答数8



- はい
- どちらともいえない
- いいえ
- わからない

放デイ:回答数41



「非常時等の対応について」お気づきの点やご意見をお聞かせください(任意)。

児童発達支援

記載なし

放課後等デイサービス

月に2回のイレギュラー利用なので(あと両親が同席しているので)、詳細は分かりません！！

〈そいる小郡より〉

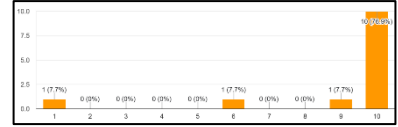
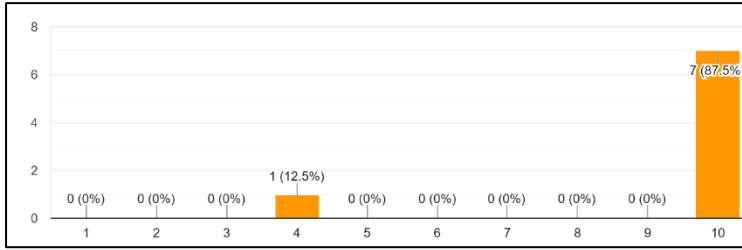
施設周囲の状況として、大雨の時の周囲道路が冠水いたします。特に事業所裏手の生活道路は低く、車両のタイヤがつかるほどになります。その都度 LINE で状況を報告させていただいております。事務手続き的に避難経路等は確認し、設定しておりますが、そもそも冠水時は正面の西鉄沿線の道路以外の周囲道路に出ることは危険かつ衛生的でないことも把握しております。したがって、事業所内での待機(こどもたちは遊びに没頭、スタッフは周囲状況の観察)を行います。また、大雨や積雪時、暴風などによる開園見送りや送迎の遅延などは、これまで同様にその都度ご連絡をさせていただきますので、天候不良時にはスマホ、携帯をこまめに確認願います。また、定期的な避難訓練的活動に関しては行っておりますが、保育所や学校などの大きな集団ではございませんので、大々的なものではありません。

備蓄として、水、おやつ等はございますので、ご安心ください。

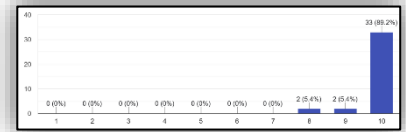
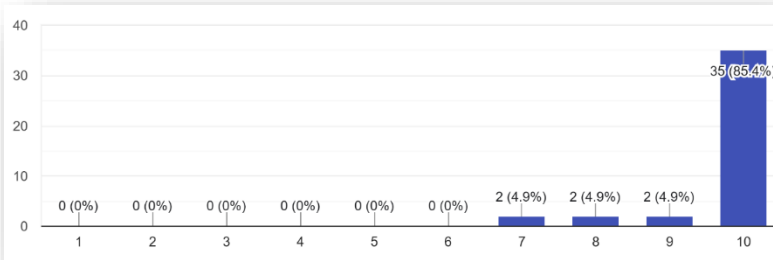
V. 「安心・満足度について」

30. お子様は、そいる小郡に安心感をもって通所されていますか

児発:回答数8

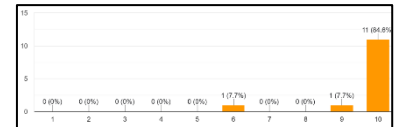
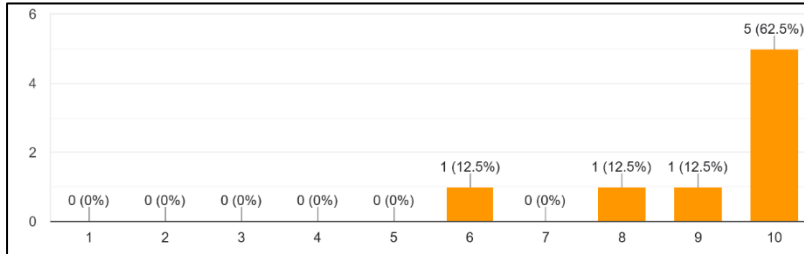


放デイ:回答数41

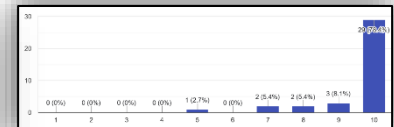
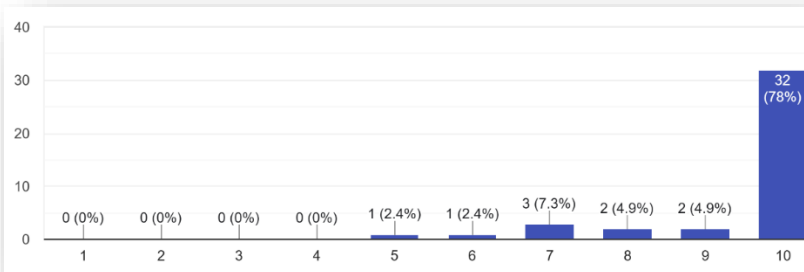


31. お子様は、そいる小郡に通うことを楽しみにしておられますか

児発:回答数8

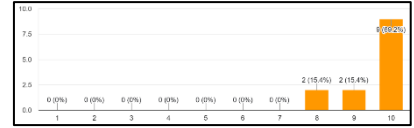
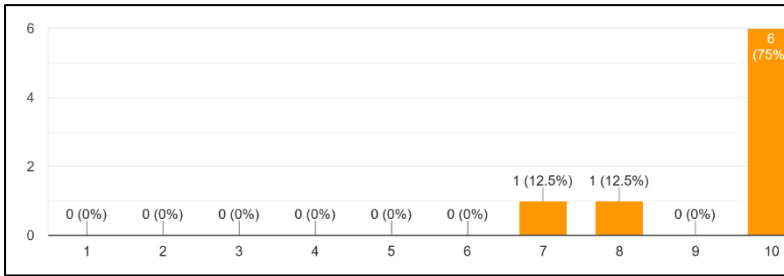


放デイ:回答数41

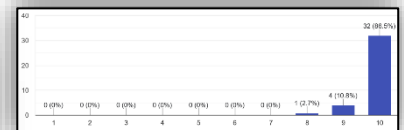
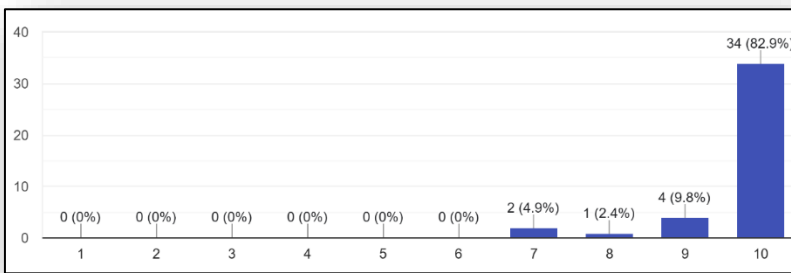


32. 保護者は、そいる小郡の取り組みや関わりに満足していただけていますか

児発：回答数8



放デイ：回答数41



〈そいる小郡より〉

こどもの安心感については、「安心できていない」と感じておられる幼児さんがおられますね。環境の変化、場所、人、時間の流れなど丁寧に伝えていくことの大切さを再確認いたしました。それと同時に、大人の都合と想いで焦らないことも大切だと考えております。

また、これまでは満足度 100%を目指していこうと思っておりましたが、特に放デイについてはこどもの満足度、楽しいと思える評価が低くなることは、こどもの背中を押してあげるタイミングかもしれないと思いました。当然、個別に見極めていきますが、親の要望よりはこどもの育ちのタイミングを優先させていただき、ご提案させていただきたいと思っております。

VI. ご意見等

33. ご意見、ご希望、お気づきの点、ハゲまし等をご記入のほどお願い申し上げます。

児童発達支援

いつも多大なる支援をいただきありがとうございます。先生たちはいつも元気で明るく、その上で子どものことを十分に考えていることを何度も実感しておりました。施設も手入れや気配りが行き届いていて、よい場を作って行こうという姿勢があらゆる面で見取れます。

最近子どもが行きたくないと言う日が増えてますが、保護者が作った状況だったり、本人の発達の段階でもあるので問題視はしていません。

むしろ妻と私の中で、相談時に求めるアドバイスに違いがあることにより、ご迷惑おかけしているような気もしています。(妻は理論を大事にしつつ明確なアクションができること。私は理論と実態にあった対応です)

親も含めて未熟ではございますが、今後ともよろしくお願いします。

いつもお世話になっております。制作を作って持って帰ってくる時は、いつも以上にニコニコしていたり、嬉しそうに見せてくれたりします。

3月で児童発達支援が終わり、4月から放課後等デイサービスに移りますが、これからもどうぞよろしくお願い致します。いつもありがとうございます。

いつも楽しそうに通う姿や、成長した姿を見てとても感謝しています。

お世話になっております。おかげさまで大成長しています。まだまだ迷惑かけてると思いますが、引き続きよろしくお願い致します。先生方には感謝しております。

放課後等デイサービス

平日、早く学校が終わる日は、そいるではなくお友達と遊ぶこと優先になってしまいました(T.T)
私、個人的にはそいるに行かせたいのですが…。土曜日の療育は楽しみにしているようです！長期休暇の時は平日も利用したいです！

いつもお世話おかけします。いつもそいるさんの通所参加を楽しみにしています。小学校で学習参観で、娘は「木曜日そいるがあるよ」と、学校の先生に直接話しました。週3回利用そいるさん楽しみ♡と、話をしてました。いつもありがとうございます。

なかなかハードな子育てですが、先生方がいつも明るく、子どもの妙な行動も笑い飛ばしてくださるので、私も楽しさを見出しながら子どもたちと向き合っています。親子共々、未長くよろしくお願い致します！

1年を通して支援計画に沿って子供の関わり方を考えて頂き有難う御座います。いつも楽しんで帰って来ている様で母親の私も安心しています。過ごしやすくご配慮下さり頭が下がります。いつもお世話になっております。今後共よろしく願います。

いつも相談に乗っていただきありがとうございます。これからもよろしく願います。

個々にあった支援を心がけて対応されていると思うので、頭が下がります。これからも忙しく大変だとは思いますが、個々にあった支援を本人だけでなく、家族ごと丸っとよろしく願います。いつも寄り添って関わっていただきありがとうございます！

大きくなっても、相変わらずな我が子の相手をしてくださりありがとうございます！子ども達の健康も願っていますが、先生方も健康に気をつけて、未永くよろしく願います！

今年度は次女も利用を卒業し、長男のみお世話になっております。が、月に2回の利用は本人も非常に楽しみにしており、利用土曜日になったら「今日は？」「そいるさん！」とニコニコしながらお返事しています。普段学校やほかのデイで見かけられない行動などもあったりして、第二の実家みたいな感じで、第二第三の祖父母みたいな感じで、第四第五の叔父叔母みたいな感じで…関わってもらっていると感じます。職員の方々の高齢化、健康状態にご留意いただけますと、さらにありがたく思います。

『そいる』は唯一無二の事業所だと思っています。保護者、子供達が安心して心身共に預けられる居場所です。大変だとは思いますがこれからもどうぞよろしく願います。

いつも程々の距離感で、保護者が相談したいときに受け入れて頂けているので助かります。報連相に抜けのある親ですが、今後もよろしく願います 🙏

ハゲまし～！我が子を3歳の頃から観ていただいてありがとうございます。

〈そいる小郡より〉

こどもたち、保護者の皆様 いつもありがとうございます。月日は平等に流れ、こども達は育ち、保護者の皆様もそれ相応にお歳をめされ、我々も…気持ちは若く、身体保護のためのスキルを磨いていきたいと思えます。職場の文書も「大きく、はっきり、短文」でなければならなくなってきました。まさに具体的なバリアフリーの取り組み。

いつもながら、コメントにホッと、温かい気持ちになり、「楽しみながら頑張ろう！」と思えます。イジリも苦言も皆様からの「愛」「ハゲまし」と解釈して、今後もハゲみたい！です。

恒例ですが、以下は、コメントというより、職員の想い(意思表示？決意表明？)として読んでください！

「どこにでもある通所先にはなりたくない」

「専門特化した機関としての冠は持ちたくない」

「行ってみると何か他とは違うかもしれない場所にしたい」

「なんか居心地がいいかもしれないけど、なんでだろうと思える場所にしたい」

などと想っています。

児童発達支援で大切にしたいこと！

- ・「やった～！」「できた！」の経験と感じられる支援を大切にしたい。
- ・小さな「できた！」が積み重ねられるように努めてまいります。
- ・この時期の人との出会いはとても大切。それを肝に銘じて、土のごとく、山のごとく。

放課後等デイサービスで大切にしたいこと！

- ・嫌な宿題を共に乗り越え、将来「そいるに行ってよかった」と思ってもらえるように！
- ・「そいる≡宿題≡そいる嫌い」なんてことにならないように気を付けて進めたい。
- ・こども達の考える遊びの中での支援展開のむつかしさを痛感しておりますが、勉強するしかない！
- ・過ごした時間、笑った場面、叱られた事が、大人になった彼、彼女らの記憶の一片になればいい！

基礎知識の補充が課題だと思っておりますが、終わりなき研鑽。スタッフ一同、責任を感じながらも、気負わず、長い時間をかけて熟成していければと思います。元気の源は、こども達の元気な声と保護者の笑顔。元気を与えてもらい(吸い取り)ます。

【管理者(理事長)よりお礼】

今回も膨大な項目のアンケート調査にご協力いただきありがとうございました。当方のような小さな事業所には不適當かなあと思える項目もありますが、利用者の皆様のご意見であることを考えれば、大変参考になります。そいる小郡は児童福祉法に規定する事業運営を行っておりますので、その収入大半は公費(皆様の税金)です。したがって、行政が定めたことは履行しなければなりません。しかし、国や県の通知や指導は、在宅のこども達、小郡市や周辺市町で暮らすこども達の生活や地域体制にマッチしてない内容もございます。メッセージを出し続けないと伝わらないし、変わらないです。

2014年9月1日にそいる小郡をスタートさせてまもなく12年となります。小学校6年の歳です。これまでの間、今回のような調査も継続的に実施させていただき、変更を検討すべきところどうしても譲れない、変えたくない、変えるべきでない部分もはっきりしてきました。今後も頑固、偏固と言われようが、貫くところは貫くスタンスで進めたいと思います。

支援全般については、今後もこども一人ひとりにあった支援や配慮ができる知識・技術を身に付けるよう努力します。また、こどもの成長やちょっとした変化に気づけるように、これまで同様にスタッフ一丸となって関わってまいります。

当方のコンセプトの一つである「人が集うあそびば」になってまいりました。今後は、「かたりば」「たまりば」も目指します。

個人的な昔からの夢！カウンターしかない気軽な喫茶と広場で、にぎやかな声に包まれてグダグダ過ごす場所づくり…全く実現の可能性も見えない運営状況ですが、「夢」は持ち続けようと思います。

スタッフ一同、今後ともよろしく願いいたします。

2026年3月31日

一般社団法人 わ・Wa・わ そいる小郡
理事長・管理者 岸 良至
スタッフ一同